



JIA 建築家大会 2018 東京

シンポジウム

「気仙沼風待ち復興検討会」の 「登録文化財」建築との取組み



角星店舗：津波で1階は損壊。2階は押し流されたが残置されたのを曳家し調査、全解体再建



武山米店店舗及び主屋：津波で1階は破損したが2階は奇跡的に良い状態で残存した。



宮城県気仙沼「風待ち」と呼ばれる港町の美しいまちなみを、地元の建築士達が「登録有形文化財」に登録する活動を行ってきました。2011年の東日本大震災で大きな被害を受けましたが、所有者と専門家、行政が一体となり、「風待ち復興検討会」を発足し、解体、登録抹消を避け、修復活用をする活動を行っています。その活動と「登録有形文化財制度」の可能性を探ります。

日時： 9月15日（土）10:00～12:00 受付開始：9:30

会場： 明治大学 駿河台キャンパス（千代田区神田駿河台1）

アカデミーコモンズ 10F 310G

主催：JIA 再生部会

定員：50名、先着順 事前申込：不要 参加費：無料

パネリスト

幡野寛治 気仙沼市教育委員会 生涯学習課長補佐

気仙沼風待ち復興検討会事務局

梅津章子 文化庁 文化財調査官

渡邊義孝 尾道空き家再生プロジェクト 理事

JIA 再生部会

モデレータ

大橋智子 JIA 再生部会 部会長



幡野 梅津
渡邊 大橋